

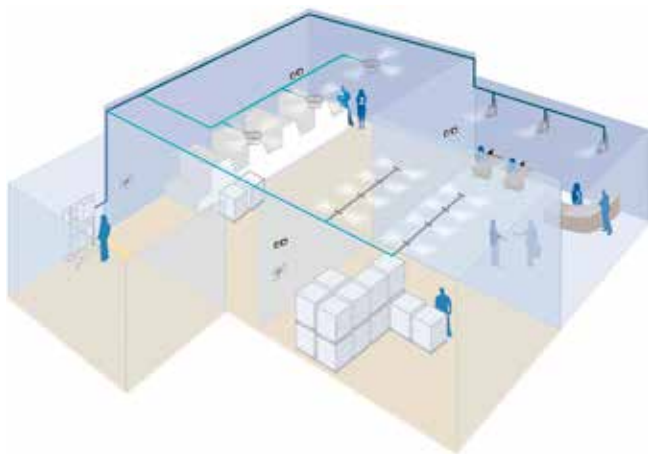
安定した湿度環境はもちろん、 衛生面と、省エネが決め手でした。

「工場には、印刷、打ち抜き、貼りの工程があり、それぞれの部屋で換気量や機械からの発熱などが異なります。紙が部屋を移動したときに湿度が異なると、紙がよれ、印刷効率を下げる原因となります。ピーエスの加湿器のおかげで、各作業空間で湿度が安定しています。医薬品のパッケージの印刷加工を行っているので、衛生的な加湿方式であることも導入の決め手となりました。」（製造部 部長代理 田代直明様より）

◆大空間に十分に湿度が行き渡ります。

丸金印刷株式会社は創業 1914 年、特殊な形状の印刷や医薬品パッケージの印刷を得意とされています。新設された市原工場は、大規模で、埃や防虫対策など衛生面が厳しく管理されています。

湿度が低いと紙がよれたり、印刷したボール紙を箱にする「貼り」の工程の際に折り目が割れてしまうこともあるそうです。加湿器の導入にあたっては、大空間に安定した湿度環境が作れることに加えて、衛生面、省エネの観点からピーエスの一流体加湿システムモノフォグ MF をご採用頂きました。



ひとつのポンプステーションから各所に最適な加湿をする一流体加湿システムモノフォグ MF



◆稼働して・・・

「一年を通して室温 26℃、湿度 50~55%を目指していて、概ね達成できています。湿し水に加湿用の純水を使うことで、ローラーに不純物が溜まることも抑えられ、交換・点検の手間が減りました。」

導入製品 : 一流体加湿システム モノフォグ MF
ノズルタイプ Princes

納入 : 2016年5月

用途 : 紙のための加湿
設計加湿量: 226kg/h